



令和2年度川俣町立福田小学校学校だより

しらさぎ Kids NO. 32

令和2年12月11日

文責:校長 神尾孝弘

感謝とやさしさを込めて～年賀状作り～

12月8日と9日の2日間。しらさぎタイムの時間に、全校生による年賀状作りが行われました。毎年本校では、子どもたちが、地域に住む85歳以上の皆さんに、手作りの年賀状を送る活動を行っています。年賀状のデザインは、子どもたちが描いた中から、3つが選ばれ、はがきに印刷されています。1年生から4年生は、1枚1枚ていねいに色をつけます。5年生と6年生は、心を込めて宛名を書きます。そうして、全校生が協力して、感謝と思



いやりの気持ちが込められた年賀状ができあがります。

今年も、この活動を実施するにあたり、福田地区青少年健全育成会から年賀はがきの提供をいただきました。ありがとうございました。

お正月には、福田地区内に子どもたちの年賀状が届くことでしょう。そして、元気と笑顔がいっぱいの新年になることでしょう。楽しみです。

(川俣町を元気にしようプロジェクト)

総合的な学習の時間に6年生が取り組んでいる「川俣町を元気にしようプロジェクト」の一環で、アンスリウムのPR活動を行いました。7日(月曜日)は、山木屋の「とんやの郷」で、8日(火曜日)は、「道の駅かわまた」で、自作のPRポスターを貼ってもらったり、PRパンフレットを置いてもらったりしていただけないかとお願いしてきました。子どもたちの地域を思う気持ちが詰まったポスターやパンフレットを受け取って、生産者や道の駅の皆さんは嬉しそうに目を細めていました。地域の皆さんに支援してもらいながら学んだことを、今度は自分たちが地域のために発信する。そんな双方向の学習が、6年生で展開されています。このようにして、6年生の心に自分たちの地域に対する愛着が形成されてきています。



(「ふくしまジュニア・チャレンジ」受賞)

5年生が取り組んできた、「第2回ふくしまジュニア・チャレンジ」で、シャモチームが金賞を、駒桜チームが銀賞をそれぞれ受賞しました。両チームとも、コロナ禍での地域の現状や課題を把握し、地域活性化のために実現可能なアイデアを考え、それらを発信してきました。自分たちの学びが地域のために役立ったという経験は、子どもたちを大きく成長させると思っています。今後の子どもたちの学びの深化を期待しています。

